

## IV 2020ちばおもてなし隊トライアルステージの推進

### 1 関係団体との協力

2020ちばおもてなし隊トライアルステージでは、これまで以上に様々な団体の皆様との協力を進めながら事業を推進した。

事業の企画や運営にあたっては、学生団体おりがみ、千葉県スポーツコンシェルジュや学校関係者などと緊密に連絡調整を図りながら取り組んだ。

また、ボランティアトライアル2019では、2020ちばおもてなし隊の活動の中で、初めて実行委員会方式の採用し、新たな協力関係作りを進めた。

その概要は以下のとおりである。

#### □学生団体おりがみ

学生団体おりがみの研究開発部会教育チームでは「2020ちばおもてなし隊」をチームの活動の主要な柱に位置付け、トライアルステージ全般にわたって、企画立案の段階から協力頂いた。

また、各事業推進にあたっては、中学生・高校生との連携に努め、「フォーラム2020」でのグループワークでは実施方法の提案及び高校生とともに企画案作りなどで重要な役割を果たした。

#### □ちば国際コンベンションビューロー 千葉県スポーツコンシェルジュ

2020ちばおもてなし隊トライアルステージ全般にわたって、企画立案の段階から、各事業に実施段階に至るまで、多方面で多大な協力をいただいた。

#### □ボランティアトライアル2019実行委員会参加メンバー

令和元年12月に開催した「ボランティアトライアル2019」では、実行委員会方式を採用し、生涯学習応援団ちば、神田外語大学（ボランティアセンター及び豊田ゼミ学生）、敬愛大学（地域連携センター及び学生有志）、千葉県スポーツコンシェルジュ及び学生団体おりがみが参加した。

それぞれが異なるバックグラウンドを持つ中で、ボランティアトライアル2019の準備のため、緊密に会合やメールでの意見交換を行い、実施することが出来た。

#### □プロジェクト結

9月に千葉大学で開催した国際会議及び成田で行った日本文化体験では、プロジェクト結で作成した箸置きを提供いただき、また、ボランティアトライアル2019ではメンバー2人もイベントに参加、箸置きづくり体験を実施した。

### 2 広報について

#### (1) 学校等への周知

ア 「いちはら×ニュージーランド ホストタウン2019」への参加依頼

令和元年7月25日付け文書で、市原市で開催されるイベントへの参加を呼び掛けた。

対象：市原市内の高等学校ボランティア活動担当者

イ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「おもてなし隊広場」への参加について

令和元年9月27日付け文書で、全校への通知に先立ち、これまでにおもてなし隊活動に参加した実績のある高等学校に対して、生徒たちの「おもてなし隊広場」への参加を要請した。

対象：おもてなし隊活動に参加実績のある高等学校ボランティア担当者

- ウ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「おもてなし隊広場」への参加について  
令和元年10月16日付け文書で、「おもてなし隊広場」への参加を呼び掛けた。併せてポスター、リーフレットを配布した。  
対象：県内の全高等学校  
印刷部数：ポスター 600枚 リーフレット 10,000枚
- エ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「ボランティアトライアル2019」への参加について  
令和元年11月14日付け文書で、「ボランティアトライアル2019」への参加を呼び掛けた。併せてポスター及びチラシを配布した。  
対象：県内の全高等学校・特別支援学校、県内大学・短期大学・高等専門学校  
印刷部数：ポスター 700枚 チラシ 12,000枚
- オ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」への参加について  
令和2年1月20日付け文書で、フォーラム2020への参加を呼び掛けた。併せてポスター及びチラシを配布した。  
対象：県内の全高等学校・特別支援学校  
県内大学・短期大学・高等専門学校、県内市町村教育委員会、県内生涯学習施設（生涯学習センターなど）、県内国際交流協会など  
印刷部数：ポスター 1,000枚 チラシ 15,000枚
- カ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」への参加について  
令和2年1月29日付け文書で、関係高校へフォーラム2020への参加を呼び掛けた。  
対象：オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地及びホストタウン登録されている自治体に所在する高等学校
- キ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」への参加について  
令和2年2月4日付け文書で、浦安市及び市原市に所在する高等学校に参加を呼び掛けた。

## (2) 報道機関を通じたお知らせ

事業推進に際して、千葉県庁記者クラブを通じて報道機関へのお知らせを行った。

ア 「ボランティアトライアル2019 NIPPON体感！」について 令和元年12月6日付

イ 「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」の開催について 令和2年2月6日付

## (3) ホームページ、フェイスブックを通じた告知

フォーラム開催前にホームページ、フェイスブック及びツイッターを活用した告知を行った。

併せて、千葉県ホームページ、千葉県公式フェイスブックページ「ちばボランティア情報局」、千葉県メールマガジン「ちばNPO・ボランティア情報マガジン」、学生団体おりがみのフェイスブックページ、千葉県スポーツコンシェルジュ「メールマガジン」などでトライアルステージの様々なイベントの紹介をして頂いた。

## 3 企画会議・意見交換会等について

事業の企画、事業内容の検討は、生涯学習応援団ちばメンバー、千葉県スポーツコンシェルジュ関係者、学生団体おりがみ、学校関係者、行政関係者などの皆さんとの意見交換を進めながら行ってきた。

#### Ⅳ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージの推進

意見交換会などの経過は以下の通り。なお、4月、5月に実施した意見交換会は、県との委託契約締結前のものである。

平成31年4月16日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：平成31年度の2020ちばおもてなし隊事業の進め方全般について意見交換

令和元年5月28日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：平成31年度・令和元年度の2020ちばおもてなし隊事業の狙い、事業項目などについて意見交換

令和元年6月24日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：平成31年度次世代ボランティア人材育成事業におもてなし隊事業が採択されたことを受け、各事業項目についての進め方を協議

令和元年9月2日

場所：神田外語大学ボランティアセンター

概要：12月に開催する「ボランティアトライアル」の基本的な進め方、概要について協議

生涯学習応援団ちば、千葉県スポーツコンシェルジュ、神田外語大学（ボランティアセンター）、敬愛大学（地域連携センター）、学生団体おりがみが集まり、今後、神田外語大学及び敬愛大学学生も交え協議を進めることで一致

令和元年9月18日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：ボランティアトライアルの事業コンセプト、キャッチコピー、事業の構成、体験コーナーの構成などについて大学生も交えて協議

令和元年10月15日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：ボランティアトライアルの推進体制（実行委員会方式等）、イベントの全体的な流れ、時間配分、今後のスケジュール、事業予算などについて協議

令和元年11月21日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：ボランティアトライアル当日のイベントの流れ、時間配分などについて最終的な確認

また、大学生を中心に、体験コーナーの実施方法・内容などについて協議

なお、イベント当日までは、メールによる意見交換などを中心に行い、開催前に、現地の最終確認、リハーサル、搬入・設営などを共同で実施した

令和2年1月27日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：フォーラム2020の全体構成、時間配分、役割分担などについて最終調整

以上のほか、個別の案件ごとに関係者と意見交換、情報交換などを進めてきた。